

ジブリパーク整備の現地の状況

I 2022年11月1日開園の3エリア

①青春の丘 (約0.8ha)

映画『耳をすませば』に登場する「地球屋」、「ロータリー広場」、映画『猫の恩返し』に登場する「猫の事務所」を整備します。また、既存のエレベーター施設を改修し、映画『天空の城ラピュタ』や映画『ハウルの動く城』などの世界観を想起させる19世紀末の空想科学的要素を取り入れた内外装とします。

〈エレベーター塔〉



3月23日からエレベーターの利用を再開

〈地球屋〉



建物が概成し、5月頃から現地での演示工事

愛・地球博記念公園 (約194ha)



公園北エントランスの再整備

北エントランスの案内所、休憩所、広場舗装、駐車場等を整備します。



②ジブリの大倉庫 (約0.8ha)

「倉庫」らしさと懐かしさを感じる和洋折衷の建築空間をイメージし、展示室、子どもの遊び場、売店と喫茶、收藏施設等を整備します。 ©2022Studio Ghibli



1月27日メディア向け発表会の写真

建物が概成し、5月頃から現地での演示工事

③どんどこ森 (約1.8ha)

映画『となりのトトロ』の「サツキとメイの家」を中心とした昭和の田園景観をイメージし、映画の世界観がより身近に、より深く感じられ、子どもも楽しめるような遊具や散策路等を整備します。



II Iから概ね1年後に開園予定の2エリア

④もののけの里 (約0.8ha)

映画『もののけ姫』のエミシの村とタタラ場をもとにした和風の里山的風景をイメージし、「タタラ場（体験学習施設）」、「炭焼き小屋」、休憩処等を整備します。

⑤魔女の谷 (約2.9ha)

映画『魔女の宅急便』、『ハウルの動く城』などの北ヨーロッパ風の空間をイメージし、「オキノ邸」と庭園、「ハウルの城」と荒地、レストラン棟等を整備します。

④⑤とも造成工事が概成し、建築の基礎工事等を実施中